

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-45	高等学校	情報	情報産業と社会	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	情報 701	情報産業と社会		

## 1. 編修の基本方針

- (1) 構成・配列は基本的に学習指導要領の構成・配列によったが、次の点で編修上の配慮を行った。
- ①情報産業に関する内容をまとめて扱えるようにするため、学習指導要領の(4)「情報産業が果たす役割」を(1)「情報社会の進展と情報産業」の後に置いた。
  - ②第3章「情報とコミュニケーション」では、情報デザインとコミュニケーションおよびコンテンツを関連付けて学べるように、学習指導要領の(2)イ「情報の管理」と(2)ウ「情報技術を活用したコミュニケーション」を入れ替えた。
- (2) 基礎的・基本的な知識を定着させるねらいから、節のまとめとなる問題を節末問題として配置し、章全体にかかわる問題を章末問題として配置した。
- (3) 第3章1節「情報の表現」では、学校および一般での普及の点から、プレゼンテーションのレイアウトにおいて、Microsoft社の PowerPoint を念頭に置いて説明した。
- (4) 第4章2節「アルゴリズムとプログラミング」では、学校での普及の観点から、Microsoft社の Excel VBA を念頭に置いた表計算マクロ言語を使って説明した。
- (5) 情報産業に関する職業への興味・関心を促すねらいから、「スペシャリスト訪問」(p.80, p.82, p.84)で情報産業に関する職業に就いている人物を紹介した。
- (6) 見返し1～2では、本文内容を補助するねらいから、情報デザインに関する基礎知識を紹介した。
- (7) 見返し3では、本文内容を補助するねらいから、暗号化の具体例を紹介した。
- (8) 見返し4では、本文内容を補足するねらいから、情報で使われる単位の接頭辞を紹介した。
- (9) 学習上の便宜を図るため、巻末に「重要用語のまとめ」を、見返し5～6には一覧表の形式で「表計算マクロ言語の基礎知識」を掲載した。

## 2. 対照表

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 情報社会の発展と 情報産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報伝達の変遷を扱う際に、日本の技術の進展について積極的に取り扱った（第5号）。</li> <li>・ 情報社会の展望を具体的に掲載することで、どのように社会形成に参画できるかを具体的に考えることができるように配慮した（第3号）。</li> </ul>	<p>p.11, p.12</p> <p>p.30～33</p>
第2章 情報産業が果たす 役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報モラルや情報関連の法規、情報に関する職業など、情報に関する基礎的な知識を幅広く身に付けられるように配慮した（第1号）。</li> <li>・ 情報を扱う産業として農業や林業、漁業を取り上げ、自然の大切さや環境の保全を意識できるように配慮した（第4号）。</li> <li>・ 情報社会の展望を具体的に掲載することで、どのように社会形成に参画できるかを具体的に考えることができるように配慮した（第3号）。</li> <li>・ 職業観を養えるように、実際に情報産業に関する職業に就いている人物のインタビューを掲載した。また、高校生に向けてのメッセージを取り上げることで、就職への興味・関心を促せるように配慮した（第2号）。</li> </ul>	<p>p.51～53, p.62～p.63</p> <p>p.63～64</p> <p>p.70～p.77</p> <p>p.80, p.82, p.84</p>
第3章 情報と コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲載する図に自然物や風景などを取り上げ、自然の大切さや環境の保全を意識できるように配慮した（第4号）。</li> </ul>	<p>p.101, p.106</p>
第4章 コンピュータと プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報に関する基本的な技術や基礎的な知識を幅広く身に付けられるように配慮した（第1号）。</li> </ul>	<p>p.132, p.138, p.146</p>

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-45	高等学校	情報	情報産業と社会	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	情報 701	情報産業と社会		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

専門教科情報の基礎科目であることから、情報について興味を持って学習できるように、全体を通して図や写真，イラストを用いて丁寧の説明した。また，各項目については，相互に関連を図ることができるよう関連ページを付記した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	簡 所	配当 時数
1章1節 情報社会の発展	(1)ア 情報社会の進展	p.6～p.13	3
1章2節 現代社会における 問題解決	(1)イ 情報社会における 問題解決	p.14～p.27	6
1章3節 情報社会の将来と 情報産業	(1)ウ 情報社会の将来と 情報産業	p.28～p.41	6
2章1節 情報セキュリティ	(4)ア 情報セキュリティ	p.44～p.61	8
2章2節 情報産業の役割	(4)イ 情報産業の役割	p.62～p.77	6
2章3節 情報技術者の責務	(4)ウ 情報技術者の責務	p.78～p.91	5
3章1節 情報の表現	(2)ア 情報の表現	p.94～p.109	6
3章2節 ICTを活用した コミュニケーション	(2)ウ 情報技術を活用したコミュ ニケーション	p.110～p.117	4
3章3節 情報の管理	(2)イ 情報の管理	p.118～p.129	4
4章1節 コンピュータの仕組み	(3)ア コンピュータの仕組み	p.132～p.143	6
4章2節 アルゴリズムと プログラミング	(3)イ アルゴリズムとプログラム	p.144～p.165	10
4章3節 ネットワークの活用	(3)ウ 情報通信ネットワークの 活用	p.166～p.181	6
計			70